

令和元年度任期制隊員就職補導教育を実施



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新発田援護室（室長 1陸尉 川ノ口竜男）は、6月13日（木）、14日（金）の二日間、新発田駐屯地及び新発田市内において、令和元年度任期制隊員就職補導教育を実施しました。

これは、今年度中に任期満了を迎え、退職を予定する隊員に対し、労働情勢等職業選択に必要な知識を付与することを目的に実施したもので、今回は同予定隊員15名が参加するとともに、予定隊員所属の中隊長及び各部隊援護担当者も参加しました。

教育初日、本教育開始に先立ち援護課長より、「就職補導教育の意義」「再就職の心構え」について訓示があり、引き続き、援護室長が再就職準備についての教育を実施しました。特に雇用の現状や民間企業に勤め生活することの厳しさや、自衛隊とは異なり利益を追求し会社に貢献することが第一義であることを強調し、参加隊員の再就職に対する意識改革を図りました。

引き続き、予備自室長が、予備自衛官・即応予備自衛官の制度教育を行い、出頭訓練の概要や地本としての支援態勢について説明しました。職業適性検査の後、自衛隊援護協会進路相談員 田丸順敏氏から「面接時の心構え」、ハローワーク新発田 落合直人氏から「企業が期待する人物像」について、それぞれ講話を受講しました。



二日目は、新発田市内に所在する太平興業株式会社の協力を得て企業研修し、会社の概要説明、整備工場見学そして最新式大型自動車を見学しました。その際、昨年三月に第三十普通科連隊を任期満了退職したOBの本間友希さんが、業務の手を休め、後輩隊員達としばしの旧交を懐かしんでいました。

この研修で、民間企業からの「生の声」を聞き、自分の将来を見据える契機となった様子で、アンケートでは「社会の厳しい実情を認識しました。」「再就職に対する意識改革が図られ職業選択や退職後の就職に必要な知識を得られました。」等の感想が寄せられました。

太平興業株式会社・新発田



新潟地本は、今後も駐屯部隊との連携を図りつつ、任期満了退職
隊員が希望企業に就職できるよう、万全のサポートを実施してい
きます。